

●特徴

この時計はソーラー駆動をそなえたランナースウォッチです。

クロノグラフ機能は最大300本の計測タイムをメモリー（記憶）し、呼び出すことができます。メモリーは300本以内であれば、分割（チャンネル）してメモリーすることもできます。クロノグラフ機能により計測した結果はメモリー機能を使い呼び出すことができ、呼び出した際にはストップタイム・平均ラップタイム表示も行います。さらに、3チャンネルアラーム機能、タイマー機能、世界44都市（GMTを含む）の時刻を表示するワールドタイム機能を含むさまざまな機能もデジタル時計です。

「ソーラー駆動について」フル充電後、光が当たらない状態で約6ヶ月間の動作が可能です。（1日あたりクロノグラフ1時間、ライト1回、アラーム1回、パワーセーブ時間で使用した時）

「時刻・カレンダー機能」年、月、日、曜日、時、分、秒、サマータイムマークを表示し、12時間制/24時間制いずれかの時刻表示を選択できます。（年は修正時のみ西暦の二桁を表示します。）・2001年から2100年までの間、うるう年などの月末修正がない「アルゴリズムカレンダー」です。

「クロノグラフ機能」・1/100秒単位で計測できる最大計測時間99時間59分59秒99のストップラップタイム機能です。・ラップタイムとスプリットタイム表示を同時に表示し、ベストラップタイム・平均ラップタイムと表示することができます。・メモリーは300本以内であれば、分割してメモリーすることができます。・ラップタイムとスプリットタイムの表示位置を切り替えることができます。

「リコール機能」・メモリーしたデータ（ラップ回数、ラップタイム、スプリットタイム）を測定後にリコール（呼び出し）することができます。・合計時間、ベストラップ表示、平均ラップが表示できます。

「タイマー機能」・2つの設定ができるダブルタイマー機能付です。・10秒から9時間59分59秒までの1秒単位で設定可能。・繰り返し回数設定は、1～100回可能です。繰り返し回数も表示します。

「アラーム機能」・設定した時刻（時・分）で毎日鳴る3チャンネルのデイトアラーム機能付です。・各チャンネルは、アラームのON/OFF切り替えができます。

「ワールドタイム機能」・世界44都市（GMTを含む）の都市名、月、日、時刻を表示します。・各都市ごとにサマータイム（DST）の設定ができます。（GMTを除く）

「内部照明（LED）機能/タップ入力機能」・時計正面をタップする（軽くたたく）と、約3秒間ライトが点灯します。・いずれかのボタンを操作すると、本来の機能動作とライトの点灯動作を同時に行えます（オートライト機能）。・オートライトは、明るい場所（ソーラーレベル3以上）で動作しません。

「ソーラーモニター機能」充電の目安として、現在のソーラー発電レベルと電池残量レベルをそれぞれ1段階で表示します。

●ワールドタイムの使いかた

・世界44都市（GMTを含む）の時刻を表示します。・各都市ごとにサマータイム（DST）の設定ができます。

（1）ボタンの名称とはらき

ボタンB ボタンC ボタンD ボタンE ボタンA

ボタンA：ワールドタイム表示への切り替え
ボタンB：都市選択（戻り）
ボタンC：都市選択（進み）
ボタンD：拡大表示の切り替え
ボタンE：サマータイムのセット／解除

（2）ワールドタイムの使いかた

①ボタンAを押して「ワールドタイム表示」にしてください。
都市名が表示されます。
②ボタンB、ボタンCを押して都市名を変えます。

（3）サマータイムのセットのしかた

「ワールドタイム表示」でボタンAを押すごとにセットと解除ができます。
サマータイムセット時は「[DST]」マークが点灯します。

※「ワールドタイム表示」では都市のサマータイムをセットした場合は、「時刻・カレンダー表示」にした場合と同じ都市のときはサマータイム表示を行います。また、「時刻・カレンダー表示」で、サマータイムをセットした場合は「ワールドタイム表示」で同じ都市を選択したときはサマータイム表示になります。

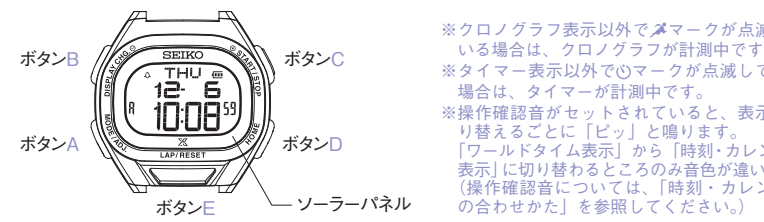
※「ワールドタイム表示」では都市のサマータイムをセットした場合は、「時刻・カレンダー表示」にした場合と同じ都市のときはサマータイム表示を行います。また、「時刻・カレンダー表示」で、サマータイムをセットした場合は「ワールドタイム表示」で同じ都市を選択したときはサマータイム表示になります。

■製品仕様

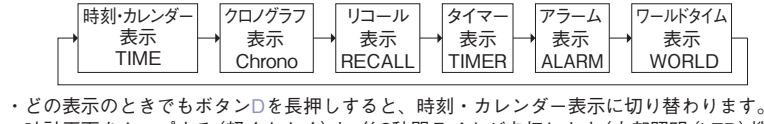
1. 水晶振動数…32,768Hz（Hz＝1秒間の振動数）
2. 精度…平均月差±20秒（気温50℃～35℃において腕に着けた場合）
3. 作動温度範囲…10℃～+60℃（ただし表示機能は0℃～+50℃）
4. 表示部…FE（電光効果）型メタック液晶
5. 電池容量…二次電池、1個
6. 待機時間…約6ヶ月（フル充電状態で光があたらず、1日あたりクロノグラフ1時間、ライト1回（3秒）、アラーム1回（20秒間）、パワーセーブ6時間（使用））
7. ライト…内部照明：LED
8. 電池回路…発振、分周、駆動：C-MOS-IC 3個
※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

●内部照明（LED）について
発光ダイオード（LED）の光を導光板により、均一に拡散発光させる方式を採用しています。※電池寿命切れが近づいて電圧が低下すると、輝度（明るさ）が低下します。

●液晶パネルについて
この時計の液晶パネルは、7年が経過するとコントラストが低下したり、数字が読みにくくなります。お買い上げ店に交換をお申し分ください。有料にて申し受けれます。



●ボタンAを押すごとに、次の順序で切り替わります。



・どの表示のときでもボタンDを長押しすると、時刻・カレンダー表示に切り替わります。
・時計正面をタップする（軽くたたく）と、約3秒間ライトが点灯します（内部照明（LED）機能）。

■各モードの拡大表示について

●各モードでボタンDを押すと、現在表示している下段の表示内容が拡大されます。
再度ボタンDを押すと戻ります。

■クロノグラフの使いかた

・1/100秒単位で計測し、最大計測時間99時間59分59秒99のストップラップタイム機能です。・ラップタイムとスプリットタイム表示を同時に表示し、ベストラップタイム・平均ラップタイムと表示することができます。・メモリーは300本以内であれば、分割してメモリーすることができます。・ラップタイムとスプリットタイムの表示位置を切り替えることができます。

（1）ボタンの名称とはらき

●ボタンAを押して「クロノグラフ表示」状態にしてください。

ボタンB ボタンC ボタンD ボタンE

ボタンA：クロノグラフ表示への切り替え
ボタンB：ラップ・スプリット表示の表示位置、および現在時刻・ラップ番号の切り替え
ボタンC：スタート/ストップ
ボタンD：拡大表示の切り替え
ボタンE：ラップ/スプリット/リセット

ラップタイムは、区間ごとの経過時間であり、ストップタイムは、スタートからある区間での途中経過時間です。

スタート

ストップ

スプリットタイム

●メモリーの考えかた

	計測の使いかた	メモリーの使用量
1	スタート→ストップ→リセット	3～4メモリー
2	スタート→ストップ/再スタート→ストップ→リセット	3～4メモリー
3	スタート→ラップ→ストップ→リセット	4～5メモリー
4	スタート→ストップ/再スタート→ラップ→ストップ→リセット	4～5メモリー
5	スタート→ラップ→ラップ→ストップ→リセット	5～6メモリー

※ベストラップタイム、平均ラップタイムを表示する関係のため、1つもデータを取ると、最低3つのメモリーを使います。
1.チャンネル（ch）のみ使用した場合は300メモリー（記憶）できますが、chを複数使用した場合はメモリーの合計が300本に達します。
たとえば、1チャンネル（ch）使用の場合は300メモリー、2チャンネル（ch）使用の場合は合計297メモリーとなります。

■充電について

・世界44都市（GMTを含む）の時刻を表示します。・各都市ごとにサマータイム（DST）の設定ができます。

（1）ボタンの名称とはらき

ボタンB ボタンC ボタンD ボタンE ボタンA

ボタンA：ワールドタイム表示への切り替え
ボタンB：都市選択（戻り）
ボタンC：都市選択（進み）
ボタンD：拡大表示の切り替え
ボタンE：サマータイムのセット／解除

（2）ワールドタイムの使いかた

①ボタンAを押して「ワールドタイム表示」にしてください。
都市名が表示されます。
②ボタンB、ボタンCを押して都市名を変えます。

（3）サマータイムのセットのしかた

「ワールドタイム表示」でボタンAを押すごとにセットと解除ができます。
サマータイムセット時は「[DST]」マークが点灯します。

※「ワールドタイム表示」では都市のサマータイムをセットした場合は、「時刻・カレンダー表示」にした場合と同じ都市のときはサマータイム表示を行います。また、「時刻・カレンダー表示」で、サマータイムをセットした場合は「ワールドタイム表示」で同じ都市を選択したときはサマータイム表示になります。

※「ワールドタイム表示」では都市のサマータイムをセットした場合は、「時刻・カレンダー表示」にした場合と同じ都市のときはサマータイム表示を行います。また、「時刻・カレンダー表示」で、サマータイムをセットした場合は「ワールドタイム表示」で同じ都市を選択したときはサマータイム表示になります。

■システムリセットのしかた

万が一、異常な動きになったときは、システムリセットをすることで正常に機能するようになります。
①ボタンA,B,C,Dを同時に長押しし、表示が消えたら離す

ボタンB ボタンC ボタンD ボタンA

①リセットされる
表示がない状態から復帰すると、ホームタイムモードの時刻表示になります。時刻・カレンダーは2018年1月1日、月曜日、午前12時00分00秒からカウントを始めます。
正しい時刻で使っていくために、システムリセット後は時刻合わせを行ってください。
※復帰後に「ホームタイムが日本時間（都市コード：TYO）」になります。

（1）ボタンの名称とはらき

●ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。

ボタンB ボタンC ボタンD ボタンE

ボタンA：時刻・カレンダー表示への切り替え
ボタンA（長押し）：時刻カレンダー合わせ状態の呼び出し
ボタンB：都市名の呼び出し
修正箇所の合わせ（戻り）
ボタンC：報時・操作確認音のセット／解除、修正箇所の合わせ（進み）
ボタンD：拡大表示の切り替え
ボタンE：ソーラーモニター呼び出し、修正箇所を選択

※年月日をセットすると「曜日」は自動的に決定されます。
※都市名をGMTにすると「DST」は設定できません。
※「DST」のONを表示させると「DST」マークが点灯し、1時間または30分進みます。

（2）時刻・カレンダーの合わせかた

①ボタンAを長押しして現在設定されている都市名を表示し、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
②ボタンBを1回押すごとに合わせたいところ（点滅）を選ぶことができます。
※都市名をGMTにすると「DST」は設定できません。
※「DST」のONを表示させると「DST」マークが点灯し、1時間または30分進みます。

※クロノグラフ（CH）のみ使用の場合、L-1からL-300までメモリーします。L-301以降も計測しますが、メモリーされません。
※メモリーがいっぱいになると一番古いチャンネルのデータをチャンネル単位で消去し、新しいメモリーを登録します。
※メモリーを選択して消去する場合は、「リコールの使いかた」を参照してください。
※クロノグラフモード時にタイマーアラームの報知音が鳴った場合、ボタンCまたはボタンEを押すと報知音が止まると同時にそれぞれボタンCの機能が動作します。
※操作確認音をONにした場合（報時・ワーク音付）、クロノグラフ操作中の各ボタン押しにより「ビッ」と鳴ります。また、ボタンE（ラップ/スプリット時間計測）時のみ「ピロリ」と鳴ります。

（2）ラップ/スプリット表示の切り替え

●ボタンBを押すごとにラップ「LAP」/スプリット「SPLIT」タイムの表示位置と、現在時刻/ラップ番号の入れ替えができます。

（3）クロノグラフの使いかた

1）構築タイムの計りかた

スタート → ストップ → 再スタート → ストップ → リセット

ボタンB ボタンC ボタンD ボタンE

ボタンA：スタート/ストップ
ボタンB：ストップ
ボタンC：再スタート
ボタンD：ストップ
ボタンE：リセット

※途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。
※クロノグラフが計測中は「マーク」が点滅します。

2）ラップ/スプリットタイムの計りかた（ラップを10回測定した場合）

スタート → ラップ/スプリット → ラップ/スプリット → ストップ → リセット

ボタンB ボタンC ボタンD ボタンE

ボタンA：スタート
ボタンB：ラップ/スプリット
ボタンC：ラップ/スプリット
ボタンD：ストップ
ボタンE：リセット

※ラップ/スプリット計測後、約10秒間表示をホールドし、ラップ回数が点滅します。その後の自動リ計測表示に戻ります。ラップ回数は、次のラップ回数を表示します。
※途中のラップは、何回でも繰り返すことができます。ラップ回数は、999回まで表示します。以降は、1001（表示：001）、1002（表示：002）と順次表示します。

この時計は一度フル充電すると、以下の状況で使用した場合、その後充電されなくても約6ヶ月間動き続けます。
・ライト点灯……………1回（3秒間）/1日
・アラーム音……………20時間/1日
・パワーセーブ……………2時間/1日
・クロノグラフ……………1時間/1日
※ライト（内部照明）をたくさん使ったり、電池が早く減りますのでご注意ください。
※オートライト機能をONにしている場合は充電不足になる場合もあるの、ご注意ください。
※使い始め、充電不足で停止している時計を動かすときは、左記の表を参考に十分な充電をしてみてください。

2）表示と電池残量について

●電池残量について

液晶パネルの表示で、おおまかな電池残量がわかります。

電池残量LCD表示

操作・機能の制限

そのときは

1）充電にかかる時間の目安

下記の時間を参考に、充電を行ってください。

電池残量LCD表示

（なし）

（点滅）

約1時間

約5時間

約1時間

約3分

1）充電にかかる時間の目安

下記の時間を参考に、充電を行ってください。

電池残量LCD表示

（なし）

（点滅）

約1時間

約5時間

約1時間

約3分

1）充電にかかる時間の目安

下記の時間を参考に、充電を行ってください。

電池残量LCD表示

（なし）

（点滅）

約1時間

約5時間

約1時間

約3分

1）充電にかかる時間の目安

下記の時間を参考に、充電を行ってください。

電池残量LCD表示

（なし）

（点滅）

約1時間

約5時間

約1時間

約3分

1）充電にかかる時間の目安

下記の時間を参考に、充電を行ってください。

電池残量LCD表示

（なし）

（点滅）

約1時間

約5時間

約1時間

約3分

ボタンEを押すたびに修正箇所が替わります。

表示のコントロール（濃薄）の調整ができます。

●ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。
①ボタンAを長押しして現在設定されている都市名を表示し、「時刻・カレンダー合わせ」状態にします。
②ボタンBを押して「コントラスト調整」状態にしてください。
③ボタンBまたはボタンCを押してコントラストを調整します。

③ボタンEを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンBまたはボタンCを押すと「[00]」に合います。
※秒表示が30～59秒の時、ボタンBまたはボタンCを押すと1分繰り上って「[00]」に合います。
※時報合わせは、電鐘の時報と一致（TEL1TV）が理想です。
④合わせたいところを選択したあと、ボタンBを1回押すごとに点滅している数字・都市名が1つずつ進みます。（反対にボタンBを押すごとに1つずつ戻ります。）（「秒」「[12/24H]」「DST」を除く。）
⑤「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンAを押して修正状態を解除して「時刻・カレンダー表示」に戻してください。
※カレンダーは2001年から2100年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この間、月の大小、うるう年でも修正する必要はありません。
※DST（サマータイム）をセットした都市は、「ワールドタイム表示」で同じ都市を選択するとサマータイムの表示になります。
※時刻修正の途中で「全点灯状態」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態で、その場合はいずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダー表示」に戻してください。次にあらためて、（2）の①から合わせなおしてください。

（2）時刻・カレンダーの合わせかた

●最大300メモリー（記憶）できます。
・チャンネル（ch）ごとにメモリーを呼び出すことができます。
・ベストラップタイム、平均ラップタイムを表示します。
・各チャンネルには測定開始時の日付が記憶されます。

（1）ボタンの名称とはらき

●ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
※最新のチャンネルを表示します。

ボタンB ボタンC ボタンD ボタンE

ボタンA：リコール表示への切り替え
ボタンA（長押し）：データ消去
ボタンB：チャンネルの呼び出し（進み）
ボタンC：チャンネルの呼び出し（戻り）
ボタンD：無機能
ボタンE：データ呼び出し

※測定結果がないときは、「―――」と表示します。

（2）リコールの使いかた

例：チャンネル10（ch-10）を見たい場合

①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
※はじめに最新のチャンネルを表示します。
②ボタンC（進み）とボタンD（戻り）を押して呼び出したいチャンネルを選びます。
③ボタンEを押して、ラップタイムの確認ができます。
次の順序で確認できます。

●全てのチャンネルを消去する場合

①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
※はじめに最新のチャンネルが表示されます。
②ボタンAを約2秒押し続けると「[CLR]」と表示されます。
③ボタンAをそのまま約2秒押し続け、「[ビビビ]」と鳴り「[CLR] ALL」と表示されたら、そのままさらにボタンAを約2秒押し続けると、すべてのチャンネルが消去され、フリーモード「F-300」を表示した後、「リコール表示」に戻ります。
※クロノグラフ計測中およびSTOP状態でデータ削除できません。

●全てのチャンネルを消去する場合

①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
※はじめに最新のチャンネルが表示されます。
②ボタンAを約2秒押し続けると「[CLR]」と表示されます。
③ボタンAをそのまま約2秒押し続け、「[ビビビ]」と鳴り「[CLR] ALL」と表示されたら、そのままさらにボタンAを約2秒押し続けると、すべてのチャンネルが消去され、フリーモード「F-300」を表示した後、「リコール表示」に戻ります。
※クロノグラフ計測中およびSTOP状態でデータ削除できません。

●全てのチャンネルを消去する場合

①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
※はじめに最新のチャンネルが表示されます。
②ボタンAを約2秒押し続けると「[CLR]」と表示されます。
③ボタンAをそのまま約2秒押し続け、「[ビビビ]」と鳴り「[CLR] ALL」と表示されたら、そのままさらにボタンAを約2秒押し続けると、すべてのチャンネルが消去され、フリーモード「F-300」を表示した後、「リコール表示」に戻ります。
※クロノグラフ計測中およびSTOP状態でデータ削除できません。

●全てのチャンネルを消去する場合

①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
※はじめに最新のチャンネルが表示されます。
②ボタンAを約2秒押し続けると「[CLR]」と表示されます。
③ボタンAをそのまま約2秒押し続け、「[ビビビ]」と鳴り「[CLR] ALL」と表示されたら、そのままさらにボタンAを約2秒押し続けると、すべてのチャンネルが消去され、フリーモード「F-300」を表示した後、「リコール表示」に戻ります。
※クロノグラフ計測中およびSTOP状態でデータ削除できません。

3）パワーセーブ／スリープについて

光が当たらず、ボタン操作が一定時間以上ない状態が続くパワーセーブ機能（節電機能）がはたらきます。

※パワーセーブ中の表示と機能

状況

操作・機能の制限

そのときは

※パワーセーブ設定のしかた

「時刻・カレンダー合わせ」でOFFまたはONの時間設定を行います。
・時間設定は30分、1時間、2時間、4時間から選べます。
「時刻・カレンダー合わせ」を参照してください。
・パワーセーブをONにしたとき「[PS]」マークが点灯します。
・時計からクロノグラフ、またはタイマーを使うときは、パワーセーブをOFFまたは使用時間より長い時間設定にしていたことをおすすめします。
・適量のパワーセーブをONにしてお使いください。
・電池残量が十分（「BATT」）の時はパワーセーブおよびスリープに入りません。
またクロノグラフ動作中はパワーセーブに入りません。

※パワーセーブ設定のしかた

「時刻・カレンダー合わせ」でOFFまたはONの時間設定を行います。
・時間設定は30分、1時間、2時間、4時間から選べます。
「時刻・カレンダー合わせ」を参照してください。
・パワーセーブをONにしたとき「[PS]」マークが点灯します。
・時計からクロノグラフ、またはタイマーを使うときは、パワーセーブをOFFまたは使用時間より長い時間設定にしていたことをおすすめします。
・適量のパワーセーブをONにしてお使いください。
・電池残量が十分（「BATT」）の時はパワーセーブおよびスリープに入りません。
またクロノグラフ動作中はパワーセーブに入りません。

※パワーセーブ設定のしかた

「時刻・カレンダー合わせ」でOFFまたはONの時間設定を行います。
・時間設定は30分、1時間、2時間、4時間から選べます。
「時刻・カレンダー合わせ」を参照してください。
・パワーセーブをONにしたとき「[PS]」マークが点灯します。
・時計からクロノグラフ、またはタイマーを使うときは、パワーセーブをOFFまたは使用時間より長い時間設定にしていたことをおすすめします。
・適量のパワーセーブをONにしてお使いください。
・電池残量が十分（「BATT」）の時はパワーセーブおよびスリープに入りません。
またクロノグラフ動作中はパワーセーブに入りません。

※パワーセーブ設定のしかた

「時刻・カレンダー合わせ」でOFFまたはONの時間設定を行います。
・時間設定は30分、1時間、2時間、4時間から選べます。
「時刻・カレンダー合わせ」を参照してください。
・パワーセーブをONにしたとき「[PS]」マークが点灯します。
・時計からクロノグラフ、またはタイマーを使うときは、パワーセーブをOFFまたは使用時間より長い時間設定にしていたことをおすすめします。
・適量のパワーセーブをONにしてお使いください。
・電池残量が十分（「BATT」）の時はパワーセーブおよびスリープに入りません。
またクロノグラフ動作中はパワーセーブに入りません。

※パワーセーブ設定のしかた

「時刻・カレンダー合わせ」でOFFまたはONの時間設定を行います。
・時間設定は30分、1時間、2時間、4時間から選べます。
「時刻・カレンダー合わせ」を参照してください。
・パワーセーブをONにしたとき「[PS]」マークが点灯します。
・時計からクロノグラフ、またはタイマーを使うときは、パワーセーブをOFFまたは使用時間より長い時間設定にしていたことをおすすめします。
・適量のパワーセーブをONにしてお使いください。
・電池残量が十分（「BATT」）の時はパワーセーブおよびスリープに入りません。
またクロノグラフ動作中はパワーセーブに入りません。

※パワーセーブ設定のしかた

「時刻・カレンダー合わせ」でOFFまたはONの時間設定を行います。
・時間設定は30分、1時間、2時間、4時間から選べます。
「時刻・カレンダー合わせ」を参照してください。
・パワーセーブをONにしたとき「[PS]」マークが点灯します。
・時計からクロノグラフ、またはタイマーを使うときは、パワーセーブをOFFまたは使用時間より長い時間設定にしていたことをおすすめします。
・適量のパワーセーブをONにしてお使いください。
・電池残量が十分（「BATT」）の時はパワーセーブおよびスリープに入りません。
またクロノグラフ動作中はパワーセーブに入りません。

※パワーセーブ設定のしかた

「時刻・カレンダー合わせ」でOFFまたはONの時間設定を行います。
・時間設定は30分、1時間、2時間、4時間から選べます。
「時刻・カレンダー合わせ」を参照してください。
・パワーセーブをONにしたとき「[PS]」マークが点灯します。
・時計からクロノグラフ、またはタイマーを使うときは、パワーセーブをOFFまたは使用時間より長い時間設定にしていたことをおすすめします。
・適量のパワーセーブをONにしてお使いください。
・電池残量が十分（「BATT」）の時はパワーセーブおよびスリープに入りません。
またクロノグラフ動作中はパワーセーブに入りません。

※パワーセーブ設定のしかた

「時刻・カレンダー合わせ」でOFFまたはONの時間設定を行います。
・時間設定は30分、1時間、2時間、4時間から選べます。
「時刻・カレンダー合わせ」を参照してください。
・パワーセーブをONにしたとき「[PS]」マークが点灯します。
・時計からクロノグラフ、またはタイマーを使うときは、パワーセーブをOFFまたは使用時間より長い時間設定にしていたことをおすすめします。
・適量のパワーセーブをONにしてお使いください。
・電池残量が十分（「BATT」）の時はパワーセーブおよびスリープに入りません。
またクロノグラフ動作中はパワーセーブに入りません。

ボタンEを押すたびに修正箇所が替わります。

表示のコントロール（濃薄）の調整ができます。

●ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。
①ボタンAを長押しして現在設定されている都市名を表示し、「時刻・カレンダー合わせ」状態にします。
②ボタンBを押して「コントラスト調整」状態にしてください。
③ボタンBまたはボタンCを押してコントラストを調整します。

③ボタンEを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンBまたはボタンCを押すと「[00]」に合います。
※秒表示が30～59秒の時、ボタンBまたはボタンCを押すと1分繰り上って「[00]」に合います。
※時報合わせは、電鐘の時報と一致（TEL1TV）が理想です。
④合わせたいところを選択したあと、ボタンBを1回押すごとに点滅している数字・都市名が1つずつ進みます。（反対にボタンBを押すごとに1つずつ戻ります。）（「秒」「[12/24H]」「DST」を除く。）
⑤「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンAを押して修正状態を解除して「時刻・カレンダー表示」に戻してください。
※カレンダーは2001年から2100年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この間、月の大小、うるう年でも修正する必要はありません。
※DST（サマータイム）をセットした都市は、「ワールドタイム表示」で同じ都市を選択するとサマータイムの表示になります。
※時刻修正の途中で「全点灯状態」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態で、その場合はいずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダー表示」に戻してください。次にあらためて、（2）の①から合わせなおしてください。

（2）時刻・カレンダーの合わせかた

●最大300メモリー（記憶）できます。
・チャンネル（ch）ごとにメモリーを呼び出すことができます。
・ベストラップタイム、平均ラップタイムを表示します。
・各チャンネルには測定開始時の日付が記憶されます。

（1）ボタンの名称とはらき

●ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
※最新のチャンネルを表示します。

ボタンB ボタンC ボタンD ボタンE

ボタンA：リコール表示への切り替え
ボタンA（長押し）：データ消去
ボタンB：チャンネルの呼び出し（進み）
ボタンC：チャンネルの呼び出し（戻り）
ボタンD：無機能
ボタンE：データ呼び出し

※測定結果がないときは、「―――」と表示します。

（2）リコールの使いかた

例：チャンネル10（ch-10）を見たい場合

①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
※はじめに最新のチャンネルを表示します。
②ボタンC（進み）とボタンD（戻り）を押して呼び出したいチャンネルを選びます。
③ボタンEを押して、ラップタイムの確認ができます。
次の順序で確認できます。

●全てのチャンネルを消去する場合

①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
※はじめに最新のチャンネルが表示されます。
②ボタンAを約2秒押し続けると「[CLR]」と表示されます。
③ボタンAをそのまま約2秒押し続け、「[ビビビ]」と鳴り「[CLR] ALL」と表示されたら、そのままさらにボタンAを約2秒押し続けると、すべてのチャンネルが消去され、フリーモード「F-300」を表示した後、「リコール表示」に戻ります。
※クロノグラフ計測中およびSTOP状態でデータ削除できません。

●全てのチャンネルを消去する場合

①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
※はじめに最新のチャンネルが表示されます。
②ボタンAを約2秒押し続けると「[CLR]」と表示されます。
③ボタンAをそのまま約2秒押し続け、「[ビビビ]」と鳴り「[CLR] ALL」と表示されたら、そのままさらにボタンAを約2秒押し続けると、すべてのチャンネルが消去され、フリーモード「F-300」を表示した後、「リコール表示」に戻ります。
※クロノグラフ計測中およびSTOP状態でデータ削除できません。

●全てのチャンネルを消去する場合

①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。
※はじめに最新のチャンネルが表示されます。
②ボタンAを約2秒押し続けると「[CLR]」と表示されます。
③ボタンAをそのまま約2秒押し続け、「[ビビビ]」と鳴り「[CLR] ALL」と表示されたら、そのままさらにボタンAを約2秒押し続けると、すべてのチャンネルが消去され、フリーモード「F-300」を表示した後、「リコール表示」に戻ります。
※クロノグラフ計測中およびSTOP状態でデータ削除できません。

3）パワーセーブ／スリープについて

光が当たらず、ボタン操作が一定時間以上ない状態が続くパワーセーブ機能（節電機能）がはたらきます。

※パワーセーブ中の表示と機能

状況

操作・機能の制限

そのときは

※パワーセーブ設定のしかた

「時刻・カレンダー合わせ」でOFFまたはONの時間設定を行います。
・時間設定は30分、1時間、2時間、4時間から選べます。
「時刻・カレンダー合わせ」を参照してください。
・パワーセーブをONにしたとき「[PS]」マークが点灯します。
・時計からクロノグラフ、またはタイマーを使うときは、パワーセーブをOFFまたは使用時間より長い時間設定にしていたことをおすすめします。
・適量のパワーセーブをONにしてお使いください。
・電池残量が十分（「BATT」）の時はパワーセーブおよびスリープに入りません。
またクロノグラフ動作中はパワーセーブに入りません。

※パワーセーブ設定のしかた

「時刻・カレンダー合わせ」でOFFまたはONの時間設定を行います。
・時間設定は30分、1時間、2時間、4時間から選べます。
「時刻・カレンダー合わせ」を参照してください。
・パワーセーブをONにしたとき「[PS]」マークが点灯します。
・時計からクロノグラフ、またはタイマーを使うときは、パワーセーブをOFFまたは使用時間より長い時間設定にしていたことをおすすめします。
・適量のパワーセーブをONにしてお使いください。
・電池残量が十分（「BATT」）の時はパワーセーブおよびスリープに入りません。
またクロノグラフ動作中はパワーセーブに入りません。

※パワーセーブ設定のしかた

「時刻・カレンダー合わせ」

